

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AL225／日本史概論 2 (Introduction to Japanese History 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	近現代日本史を農、アジア、環境から問い直す		
担当者名 (Instructor)	蔭木 達也(KAGEKI TATSUYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ART1500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

日本の近現代史上に表れる問題や葛藤を知ることを通じて、歴史を尋ねることの意義、その方法、その限界を学ぶことです。

This course aims to learn the significance of, method of, limit of history by examining problems and conflicts among the modern history of Japan.

#### 授業の内容(Course Contents)

現代の私たちの問題意識に密接であるところから、農、アジア、環境という三つの切り口に着目しつつ、1870年代から2010年代までの140年間を概観していきます。

This course treats the history of Japan for 140 years, from 1870s to 2010s. Agriculture, Asia, and environment are the main focuses, that are current social issues we face.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. はじめに: 歴史とは何か 「日本」とは何か
2. 西から東へ: 内戦と侵略に基づく近代国家の創設
3. 自由民権運動と民権結社: 農村からの政治運動
4. アジアの農村から: 大阪事件から日露戦争まで
5. 近代化と農村: 谷中村と田中正造
6. 民衆解放運動の諸相: 大正デモクラシーの時代
7. 民衆が支持した戦争: デモクラシーから総力戦へ
8. 農本思想: 昭和初期の農村救済の思想
9. 満洲農業移民: 農村の貧困から満洲侵略へ
10. 第一の戦後: 平和憲法の「平和」の意味
11. 世界の終わりのリアリティ: 原子力と宇宙開発
12. 1968年: 世界的同時性
13. 市民運動の源流: 日本の68年から公害、環境問題へ
14. グローバルな時代: 国際的な枠組みの中で

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

受講者から提出された疑問点、論点、関心に即して適宜授業時間外の学習支援を行います。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(100%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

授業中に適宜ご案内します。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

#### 注意事項(Notice)